



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 36

ケニア・ナイロビにおける第3回地球地図セミナー

岡谷 隆基

ISCGM 事務局

地球地図整備の政策的、技術的観点及び地球地図データの利活用方策についての講義等を通じ、アフリカにおける地球地図プロジェクトに関する理解促進及び技術向上を目的とした、第3回地球地図セミナーが、2004年11月8日～11日まで、アフリカ17カ国から19名の専門家の参加により、ケニア・ナイロビの開発のための資源地図地域センター(RCMRD)で開催されました。

本セミナーでは、開講式に引き続く形で以下の発表が行われました。

- ▶ 主催者の活動報告
- ▶ 地球地図の利用
- ▶ 空間データ政策での地球地図の役割
- ▶ 地球地図の技術的手法と問題点

また、上記の発表のほか、初日午後にはパネルディスカッションが行われ、空間データ基盤の構築に関する議論が行われました。さらに、地球地図及び空間データ基盤等の状況についてのカントリーレポートが参加各国により発表されました。本セミナーは、終了証書授与式をもって閉会しました。

今回のセミナーでは、以下のような成果が得られました。

- ▶ 地理情報技術をアフリカ諸国へ技術移転するための良い機会となった。
- ▶ 地球地図の政策的、技術的な内容の両面が、バランス良く取り上げられた。
- ▶ 地球地図整備は開発途上国に単に全球

データの一部を各国の協力の下、自らの手で作成するというのみならず、データ構築に伴う地理情報技術に係る人材育成や、自国の空間データ基盤の確立にも資するという様々な効果があることが参加者によって認識された。

- ▶ 地球地図整備は単に地理情報の整備にとどまらず、農業等様々な分野に活用されることが認識された。

運営：ISCGM、国土交通省(MLIT)、RCMRD
協力：ケニア測量局(SOK)、ケニア測量地図学院(KISM)、国際協力機構(JICA)

参加国：ボツワナ、チャド、コンゴ民主共和国、エチオピア、ケニア、マダガスカル、マラウイ、モーリシャス、モザンビーク、セイシェル、スーダン、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ザンジバル、ジンバブエ



講義中の著者

USGS と INEGI を訪問

丸山 弘通

ISCGM 事務局長

筆者は、8月に地球地図プロジェクトの中心機関であるUSGS(米国地質調査所)とINEGI(メキシコ国立統計・地理・情報院)を訪問しました。今回の訪問の目的はWSSD(持続可能な開発に関する世界首脳会議)で約束した2007年までの全球陸域整備に向けた地球地図の促進です。

USGSでは、最初に、GTOPO30やGLCCを提供した彼らの協力に謝意を表しました。それらはISCGMのホームページで入手できる地球地図のほとんどのラスターレーヤのソースデータとなっており、USGSの努力で完成したものです。続いて米国のベクターレーヤの整備について検討しました。また、千葉大学の建石隆太郎教授を部会長とする第4ワーキンググループで調整が行われている新しい全球土地被覆データ整備計画について議論しました。ジェイ・フーケー博士を中心とするUSGSの地球地図チームは全面的に地球地図に協力する意向を表明しました。

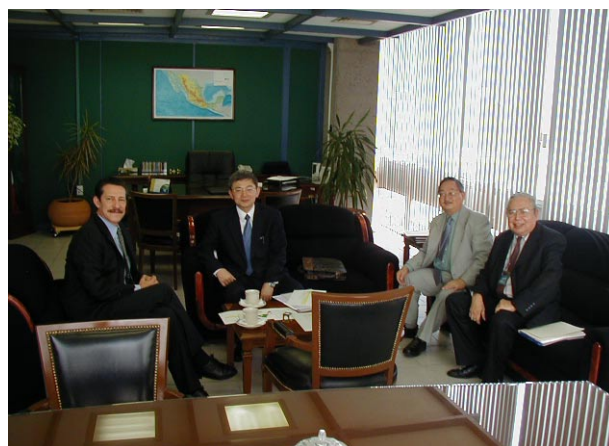


USGSの地球地図チーム

INEGIでは、マリオ・アルベルト・レイエス・イバラ地理局長、フランシスコ・タカキ・タカキ地理局地理標準局長補、フランシスコ・A・ハンセン・アルビテス測地・画像部長と会合を持ちました。レイエス部長はPCIDEAの部会長、ハン

セン局長は同事務局長を務めております。このような顔ぶれのため、会合の主な話題は自然にラテンアメリカの地球地図整備の促進となりました。また、PCIDEAはプロジェクトへの各国の参加の奨励やデータ整備において引き続き地球地図に協力することを確認しました。

INEGIのご好意により、素晴らしい講堂で地球地図の講演をする機会に恵まれました。約100名のINEGI職員が私の発表を聞くために集まりました。この講演で多くのINEGI職員に地球地図の重要性を広めることができました。INEGIのご配慮に心から感謝します。



INEGIでの会合

これら二機関の訪問によって、地域空間データ基盤の取り組みと地球地図の関係がさらに確固たるものとなり、具体化していると感じました。地球地図ニューズレター第35号で、ワン・チュンフェン中国国家測繪局副局長・アジア太平洋地域GIS基盤常置委員会副会長は汎アジア太平洋フレームワーク・データの整備について述べています。これは地球地図をもとにアジア太平洋地域を継ぎ目のないデータで整備しようという取り組みです。同様の動きが米州地域でも始まっており、空間データ基盤の取り組みや地球地図整備の双方にとって望ましいことであると思います。

地球地図への期待

オウカチ・ハミッド

INCT 院長

地球地図プロジェクトの参加国の紹介の一環として、ISCGM 事務局は INCT 院長のオウカチ・ハミッド氏にアルジェリアと INCT について紹介していただくことにしました。

アルジェリアは面積 230 万平方キロの国で、地表の四分の三はサハラ砂漠地帯となっています。

わが国では砂漠化対策、土地開発や新しい社会基盤の改善に大きな力を注いでいます。

国立地図リモートセンシング院 (INCT) はアルジェリアの開発に必要な地理情報を提供するための機関として 1967 年に設立されました。

INCT の任務は以下のとおりです。

- ▶ 水準測量および重力測定測地網に関する業務
- ▶ 空中写真、図化および正射写真モザイクの作成、および大縮尺による測量を含む写真測量およびリモートセンシング業務
- ▶ 中・小縮尺による基本図の編集および発行ならびにその更新。

アルジェリアは数種類の縮尺により地図が整備されています。

- ▶ 縮尺 100 万分の 1 で、経度 6 度 x 緯度 4 度の 17 面で全土を整備。北サハラ測地系クラーク 1880 楕円体ランベルト等積図法による。編集作業は 1960 年代に開始。
- ▶ 縮尺 50 万分の 1 地図は縮尺 100 万分の 1 と同じ仕様による。範囲は 4 度 x 2 度。
- ▶ 縮尺 20 万分の 1 では 234 面で全土を整備、各面は UTM 投影法により各 1 度 x 1 度の大きさ。編集は 1950 年に開始し、現在更新中。
- ▶ 縮尺 5 万分の 1 地図はアルジェリアの基本図である。新しい版が 1982 年に開始し今日に

至る。全土を覆うには各 15 分 x 15 分の範囲の地図で約 4000 面必要である。そのうち約 500 面は作成済み。これらの地図は UTM 投影されています。

INCT は ISCGM に協力する ESRI の呼びかけで 2002 年に GSDI・地球地図プロジェクトに参加しました。

INCT ではアルジェリアの 100 万分の 1 の統合したデジタルデータを地域計画・開発に係わるアルジェリアの人々が利用できるよう、また業務でアルジェリアの情報が必要な海外の研究者のために GSDI のサイトで提供しています。

INCT は地球地図プロジェクトを支持するために、GSDI グループや国際的な地理ネットワークの一員となっています。それによって経験の交換や国際会議を通じて、地理情報分野のノウハウ、技術、データの共有に積極的に参加することが可能となります。



GEO-5 会議

D. R. フレーザー・テイラー教授
ISCGM 委員長



テイラー教授

GEO-5 会議は 2004 年 11 月 29 日～30 日までカナダ・オタワで開催されました。この会議は高級レベルで、全地球観測システム(GEOSS)の構築に関心を持つ 40 カ国、30 国際機関を超える国・機関の 250 名以上の幹部級の研究者や政府職員が参加しました。ISCGM は議長の私が代表で参加しました。また、ISCGM では会期中に活動に関するポスターを展示しました。GEO-5 会議の成果についての詳細報告は以後のニューズレターに掲載する予定です。

ISCGM事務局からのお知らせ

- ▶ 第 12 回 ISCGM 会合はエジプト・カイロにおいて 2005 年 4 月 17 日に FIG ワーキング・ウィーク 2005 および GSDI8 と併せて開催されます。また、4 月 21 日に地球地図セッションが FIG ワーキング・ウィーク 2005/GSDI8 の一環として行われます。
- ▶ 地球地図サモアが 2004 年 11 月 25 日に公開されました。
- ▶ ニジェール（2004 年 11 月 4 日）とドミニカ共和国（2004 年 12 月 24 日）が、それぞれ地球地図プロジェクトに参加し、2004 年 12 月 25 日現在のプロジェクト参加国・地域は 137 となりました。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2005 年

- 2月 14 日～16 日、ベルギー、ブリュッセル
地球観測サミットⅢ及び GEO-6
- 3月 21 日～23 日、オランダ、デルフト
第1回災害管理のための地理情報国際シンポジウム
- 4月 16 日～21 日、エジプト、カイロ
FIG ワーキングウィーク 2005 及び GSDI8
- 4月 17 日、21 日、エジプト、カイロ
第 12 回 ISCGM 会合及び地球地図セッション
- 7月 3日～6日、イギリス、サザンプトン
CC: The exchange
<http://www.ordnancesurvey.co.uk/oswebsite/nmonetwork>
- 7月 9日～16日、スペイン、ラコルニャ
第 22 回 ICA 国際地図学協会会議

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org